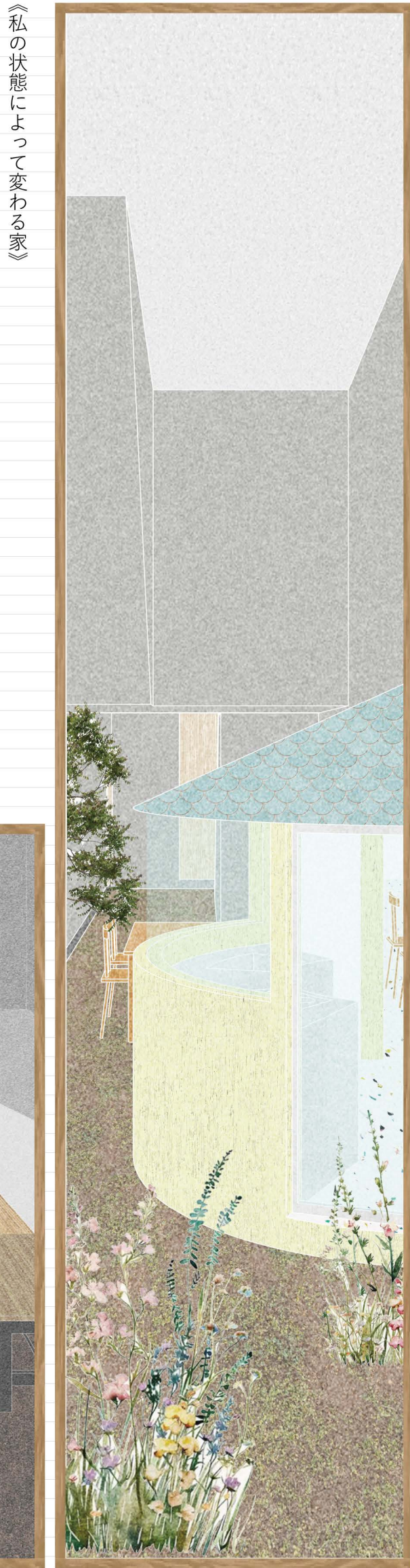


いえの状態 わたしの状態



《私の状態によって変わる家》

ある時には、大好きな愛犬に会いに行くところ。

またある時には、キリの悪いところで終わった作業を片付けるところ。

私の心や身体の状態によって、帰りたい家は変化する。

《家の状態によって変わる私》

ある時には、家族が騒がしく、一人の静けさに浸りたいと感じる自分。

またある時には、家族団欒の温度の中で、複数人と共にいたいと思う自分。

家の雰囲気や状態が、私のふるまいを変化させる。

家の状態／私の状態の両者の関係は
絶えず変化していく。



この家では、《状態》を選べる家を提案する。
そこで2つの操作を行った。

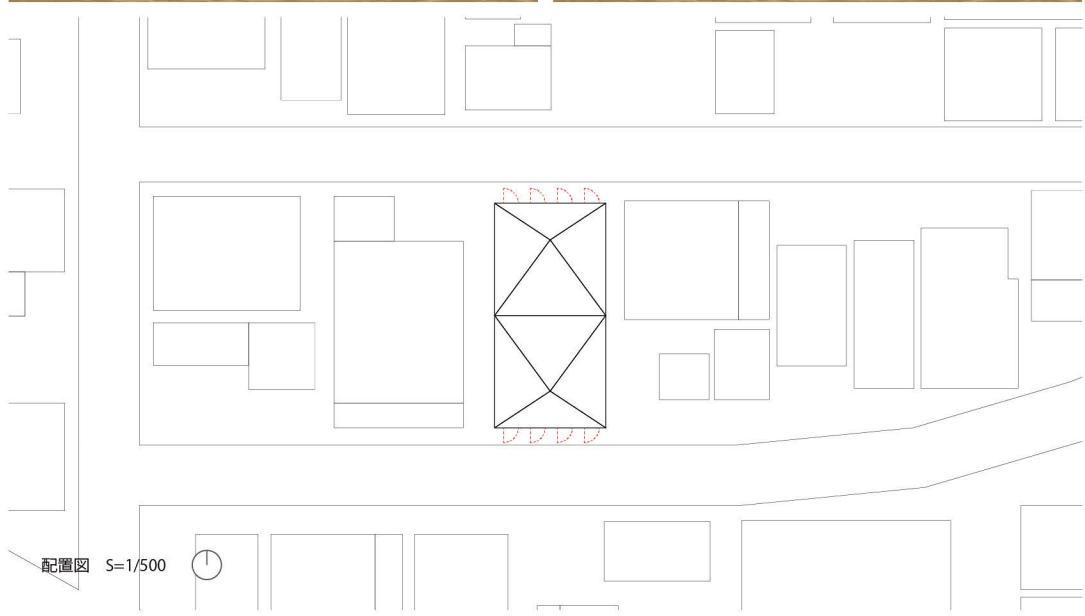
① 複数の扉を設ける

扉は、家の内部と外部を分節するためのものではなく、
その日の「私の状態」に最も近い風景を選び取ることができる。

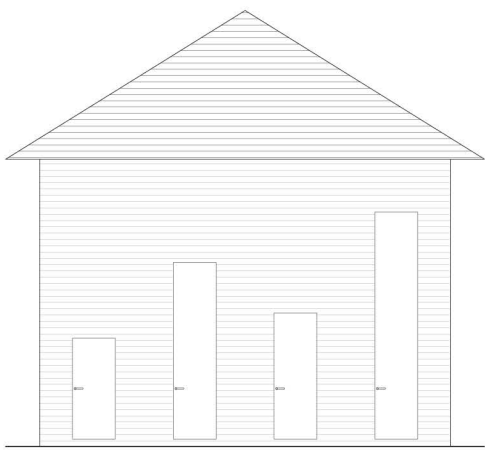
② 複数の居場所を設ける

家の光、音、温度など《家の状態》によって、
その日「居たいところ」を自由に選べることができる。

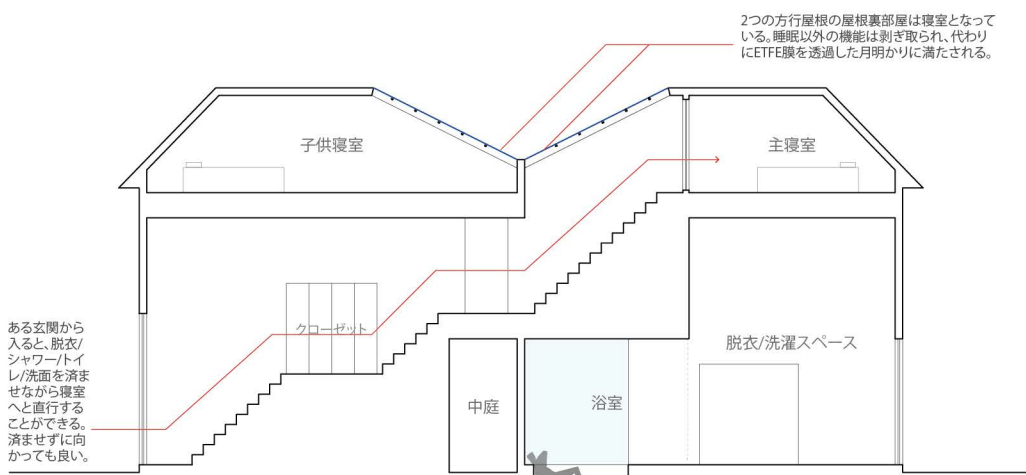
《帰りたい家》とは固定されたものではなく、
家の状態と私の状態を選べる家である。



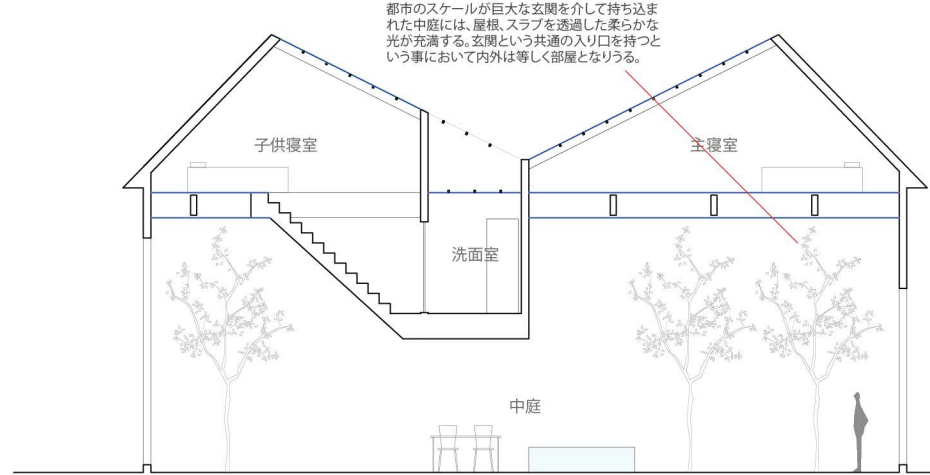
南側立面図 S=1/150



北側立面図 S=1/150



長手断面図 S=1/150



長手断面図 S=1/150